**Ⅰ.　医療者としての患者の就業に関する意識**

**本質問票の「患者」は、がんと診断されている患者であり、比較的就業を継続できる病状とします。**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 　**（質問によっては「ある」＝「あてはまる」、****「ない」＝「あてはまらない」として回答ください）** | **あてはまる** | **まあ、あてはまる** | **あまり あてはまらない** | **あてはまらない** | **わからない** |
| 1.　 | 患者の「仕事」に関心がある | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 2.　 | 患者の仕事の業務内容（例：営業、事務職、工場勤務）を聞くようにしている | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 3. | 患者の仕事の勤務形態（勤務日や勤務時間など）を聞くようにしている | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 4.　 | 患者が仕事を辞めずに治療できることは望ましいと考えている | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 5. | 患者が仕事をなるべく休まなくてすむように外来や検査の日にちや時間の設定に配慮している | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 6. | 患者には、治療の過程で仕事を休まないといけない　時期や仕事への影響を説明している | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 7.　 | 患者には会社の上司などに今後の見通し（治療計画や配慮すべき事項）について説明し、理解をもとめるようアドバイスをしている | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 8.　 | 休職した患者（例1ヶ月以上）に対しては復職の　　　タイミングについてアドバイスをしている | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 9.　 | 患者が仕事を継続できるように副作用などをできる　だけ減らすよう心がけている | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 10.　 | 患者の職場の産業医とやりとりをしたことがある | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 11. | 会社に提出する診断書に今後の治療の見通しや職場で必要な配慮などを書くようにしている | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 12. | 患者の所属している会社の産業医から治療の見通しと職場で必要な配慮についての意見書などを求められたら回答する | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 13. | 医療者として、仕事の話までする時間的余裕はない | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 14. | 患者の仕事についてアドバイスをすることは難しい | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 15. | 患者は治療期間中の仕事の継続についてもっと　　　医療者に相談する方がよい | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 16. | 看護師は患者の就業についての相談を積極的にうけることが望ましい | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 17. | ケースワーカーやソーシャルワーカーは患者の就業についての相談を積極的にうけることが望ましい | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 18. | 医療者として治療費や高額療養費制度などについて　患者に説明している | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |

**Ⅱ.所属している医療機関（複数ある場合には最も勤務日の多い医療機関）の体制について**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 　 | **思う** | **まあ思う** | **あまり****思わない** | **思わない** | **わからない** |
| 1.　 | 貴科で使用している問診票には、患者の職業を問う欄がある(「ある」は思う、「ない」は思わないを選択) | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 2.　 | 外来は、予約の時間どおり（1時間以内のずれ）に受診できる | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 3. | 外来は、平日夕方や週末など患者やその家族が仕事を休まなくても受診できるような体制がある | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 4.　 | **抗がん剤**の治療の日時や時間は、患者の仕事の予定に　配慮して決められる | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 5. | **放射線**の治療の日時や時間は、患者の仕事の予定に 配慮して決められる | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 6. | 就業に関して、患者の依頼や必要性に応じて看護師が　患者に対して個別に対応する体制がある | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |
| 7. | 就業に関して、患者の依頼や必要性に応じてケースワーカーやソーシャルワーカーなどが患者に対して個別に対応する体制がある | □1 | □2 | □3 | □4 | □5 |

**Ⅲ.自由記入**

１）がん患者の就業継続支援についてなにかご意見やお考えがありましたらお書きください。

２）就労継続支援に関して主治医として困難な経験やうまくいった経験などあれば教えていただけますと幸いです。

**Ⅳ. 最後に、あなたご自身についてお伺い致します**

1． 性別をお答え下さい。

 □1男性　　　　　　□2女性

2． 医療者として何年目ですか。

 □110年未満 □210～19年 □320～29年 □430～39年

□540～49年 □650年以上

3． 主に勤務している医療機関の種類をお答えください。

（複数の場合は勤務日の多い医療機関）

 □1病院 □2診療所　　　　 □3その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

 3-a． 主に勤務している医療機関の設置分類をお答えください。

　　　　□都道府県がん診療連携拠点病院　□地域がん診療連携拠点病院

　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

4． 主に専門としている科（最も時間を費やしている診療科）を

1つ選んでください。

 □1内科 □2外科　　 □3婦人科　　□4耳鼻咽喉科

　　□5泌尿器科 □6整形外科　 □7皮膚科　　□8脳神経外科

　　□9放射線科 □10眼科　　 □11小児科

　□12その他（　　 　　　　 　　 ）

5．医師の方のみお答えください。日本医師会認定産業医をお持ちですか？

□はい　　□いいえ（→□取得する予定がある□取得する予定はない）